

# 消防だより

羽島郡広域連合

# No. 44



羽島郡広域連合消防本部の情報を発信中!!

当消防本部では、毎月水難救助隊訓練を実施しています。

訓練風景はInstagramでも紹介しています。



ホームページ



Instagram



Facebook



### 救助艇を更新

西消防署の救助艇を更新しました。

この救助艇は、水難事故が発生した際に、素早く河川に着水することができるよう、資機材搬送車に積載してあります。

水面からの検索や水難救助隊員を目標の場所まで搬送するため、十分な機動性と操作性が備わっています。

いつ災害が起きても対応できるように、救助艇の整備や、取扱い方法の訓練を日々努めています。



### 消防技術訓練発表会

令和五年九月二十九日、当消防本部駐車で、消防技術訓練発表会を実施しました。

この発表会は、救助や消火活動に必要な消防技術の向上と隊員の士気の高揚を図り、実災害発生時に有効適切な消防活動を行うことを目的としています。

当日は、当消防本部の救助隊が、交通事故で、車の下敷きになっている人と車内で挟まれている人がいるとの想定により、油圧資機材を使用した救助訓練を実施しました。

また、第五十一回消防救助技術東海地区指導会に出場した救助隊員が引揚救助訓練を披露しました。

今回の訓練を活かし、実災害でも的確かつ迅速な活動ができるようこれからも訓練に努めます。



### ハラスメントセミナー

当消防本部では、令和五年十一月二十八日にハラスメントセミナーを実施しました。

このセミナーは、職員がハラスメントを正しく理解し、防止することや万が一発生した際の対応ができるようにすることを目的とし、毎年実施しています。

今回は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師にお招きし、ご講義いただきました。

職員が、ワークシヨップ形式で問題点の洗い出しと解決策について認識を共有するなど、非常に有意義な研修会となりました。

今後、消防業務遂行のため、より良い労働環境を整備します。



### 救急の豆知識

ここでは、救急の豆知識として、いざという時に知っておきたい救急の豆知識をご紹介します。

#### やけど

日常生活には、沸騰したお湯や熱くなった暖房器具など、やけどを負ってしまう危険性が多く潜んでいます。もし、やけどを負ってしまったら、早急に適切な処置をすることが大切になってきます。では、どのように対処をすれば良いのでしょうか。やけどの症状や自宅にある物を使って、簡単にできる応急手当の方法などをご説明します。

#### 対処方法

やけどを負った場合は、まず十五分程度の時間、やけどをした部分を冷やしてください。手足をやけどした場合、水道水を流したままの洗面器やバケツに手足を浸します。この際、蛇口の水をやけどをした部分に直接当てると皮膚が剥がれやすくなるため注意してください。顔面や体幹部では、水道水に浸して少し絞ったタオルや、タオルでくるんだ保冷剤をやけどした部分に当てましょう。

#### 乳幼児の窒息

ベビーベッドで寝ている赤

ちゃんでも、物を握り始める三、四か月、さらには、口になんでも入れ始める五、六か月からは注意が必要です。

#### 対処方法

異物による窒息が疑われる場合は、直ちに一九番通報するように誰かに依頼し、救助者は次の方法を試みます。救助者が一人だけの場合は、一九番通報する前に次の方法を試みます。

#### 背部叩打法

片腕の上につつ伏せにさせて頭を低くし、乳児の顔を手の平で支える。もう一方の手の付け根で背中の中真ん中を異物が取れるまで強く叩きます。

#### 胸部突き上げ法

片腕の上に、頭部が低くなるように仰向きに乗せ、手の平で乳児の後頭部をしっかり支えながら、もう一方の手指二本で、胸の真ん中を力強く数回連続して圧迫します。

皆さんの行動で救える命があります。是非習得してください。





『三年連続火災による死者ゼロ！負傷者ゼロ！』達成  
令和五年 消防統計

令和五年中に当消防本部管内で発生した火災・救急・救助出場の概要は次のとおりです。

火災件数は、十二件で前年と比べ二件の増加となりました。

火災種別では、建物火災四件、その他の火災八件となりました。

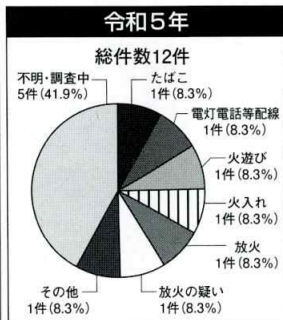
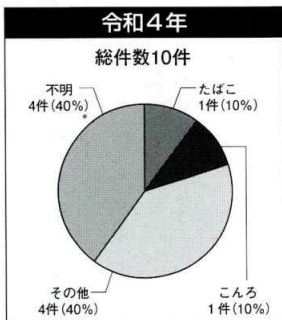
火災による死傷者は、三年連続0人となりました。この結果は住民の皆さんの高い防火意識の成果です。これからも死傷者ゼロを継続できるように、羽島郡一丸となって頑張ります。

出火原因別では、たばこが一件、電灯電話等配線が一件、火遊びが一件、火入れが一件、放火が一件、放火の疑いが一件、その他が一件、不明・調査中が五件となりました。

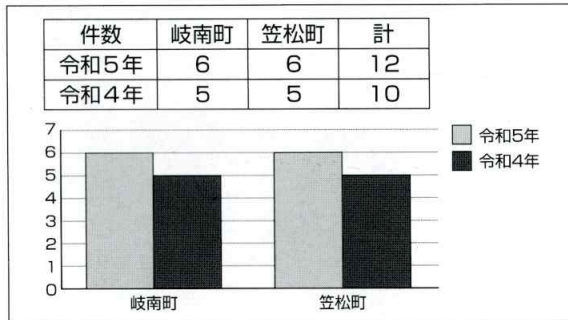
救急出場件数は、二千四百五十六件で前年と比べ百八十五件の増加となりました。また、出動種別のトップは急病の千六百五十六件で、全体の六十七%を占めました。

救助出場件数は、三十一件で前年と比べ八件の増加となりました。また、出動種別のトップは交通事故の二十件で全体の六十五%を占めました。

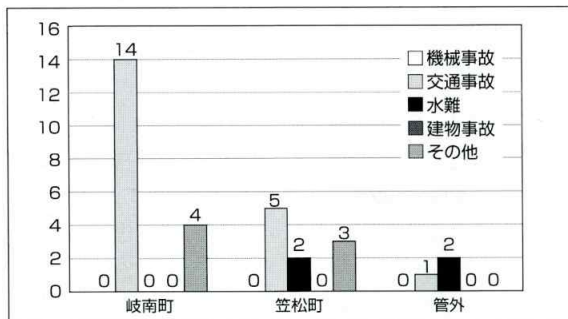
■出火原因



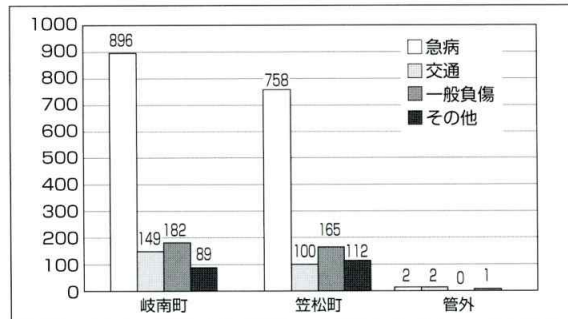
■町別火災件数



■令和5年中の町別救助件数



■令和5年中の町別救急件数



- 今年も春季全国火災予防運動が実施されます。
- この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。
- 次のことを心掛けましょう。
- 住宅防火対策の推進
  - 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
  - 放火・火災防止対策の推進
  - 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
  - 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
  - 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 期間中には、火災予防ポスターの配布、巡回広報を行います。
- 二〇三年度 全国統一防火標語  
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

春季全国火災予防運動

(令和六年三月二日～七日)

- 住宅防火 いのちを守る十のポイント
- 四つの習慣・六つの対策
- 四つの習慣
- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使つときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
- 六つの対策
- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、十年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。





### 救急資器材の紹介

東消防署の自動体外式除細動器を更新し、自動心臓マッサージ器を新たに導入しました。

そこで、今回更新・導入された資器材と現在救急車に積載されている資器材の一部を紹介いたします。

#### 自動体外式除細動器

自動体外式除細動器、通称AEDを更新しました。従来の機器と比べて、電気ショックを実施するまでの充電時間が短縮され、操作性も向上しました。



#### 自動心臓マッサージ器

自動心臓マッサージ器は、当消防本部では初導入となります。導入前は救急隊員が絶え間

なく胸骨圧迫を実施していましたが、この資器材の導入に伴い、胸骨圧迫を機械に任せられることで隊員が別の処置を行えるため、救命率の向上が期待できます。



#### エアーストレッチャー

この資器材は、傷病者を引きずって搬送することができません。ただ平地を引きずるだけではなく、階段などもそのまま引きずることができるの

で、体格の大きな方の搬送や狭い階段を少人数で搬送しなければならぬ際には非常に役立ちます。使用時には瞬時に空気を注入することができ、傷病者に負担を掛けることなく搬送できます。



救急車には他にも様々な資器材があります。

当消防本部のSNSで随時紹介していきますので、興味のある方はSNSのフォローをよろしく願います。

また、今回は救急資器材の一部を紹介しましたが、救急隊が到着するまでに、皆さんができることがあります。

当消防本部では救命講習で、胸骨圧迫やAEDの使用方法、応急処置を学ぶことができます。ご家族やご友人の方が一の事態に備えて、ぜひ受講してみてください。定期開催に加えて、事業所にも伺いますので興味のある方は消防署にお尋ねください。

### 消防職員意見発表会

令和六年一月十二日、岐南町総合福祉センターやすらぎ苑で、消防職員意見発表会が行われました。

この消防職員意見発表会は、消防職員の資質の向上を図るため、消防職員が「消防・防災に関すること」をテーマに西消防署・東消防署から選出された職員十人が意見を発表しました。

この発表会は、羽島郡二町教育委員会教育長、岐阜県消防学校教頭、当連合会計管理者の三名が厳正に審査され、次の職員が選ばれました。最優秀の酒井士長と多田士長は、二月十五日の岐阜地区大会に出場しました。



#### 最優秀賞



消防士長 酒井 聖幸

#### 優秀賞



消防士長 多田 圭介

#### 努力賞



消防士 永石 大世



消防副士長 萩野 峻矢